※令和４年度以降入学生用

学校番号	T1202

令和５年度　理科

教科	理科	科目	教養科学	単位数	２単位	年次	２～４年次
使用教科書	特になし						
副教材等	自作授業プリント、視聴覚教材、実験器具など						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自然科学に興味や関心を持ってもらうために身近にある自然や日常生活に関連した事象を取り上げます。
・授業はプリントで学習します。授業プリントは実施ごとに回収し、評価の対象とします。
毎回しっかりと取り組みましょう。
・毎回前回の振り返りの小テストを実施します。しっかり取り組みましょう。
・授業への取り組み状況も評価の対象となります。
遅刻や欠課をせず、しっかりと出席しましょう。

2　学習の到達目標

①　自然科学についての原理・法則を理解し、量的関係の計算(物質量・質量・体積など)を行ったり、それをもとに物質の構造を決定できるようになる。
②　自然科学に対する興味や関心を高め、そのときに出た疑問を主体的・対話的に検証し、その内容を整理したうえで表現する力を身に付ける。
③　身近にある物質や事象について自身が抱いた疑問や、授業で学んだ諸課題について主体的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然科学についての基礎的な概念や原理・法則などを理解する。また量的関係の計算や物質の構造を決定する技能を身に付けるようにする。	理科的知識を活用して、古来の科学者が導き出した自然科学の法則から、自身が抱いた疑問を検証し、その結果から自分の考えをまとめさせ発表する能力を身につける。	身近にある身の回りがなぜあるのか、誰が発明したのかなどの疑問を自身で解決するための知識や技能を身に付ける能力を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	化学分野	・元素・原子・分子 ・イオン・イオン式 ・化学反応式 ・物質量の量的関係 ・構造式	a:元素記号、分子式、イオン式、化学反応式が書ける。 b:物質量の計算及び反応式から量的関係を求めることができる。 c:ｂで得た結果から分子式、構造式が書ける。	考査 小テスト	考査 パフォーマンス課題 プリント	授業観察 プリント
	化学・生物分野	・天然高分子・糖 ・アミノ酸・タンパク質 ・五大栄養素 ・食品添加物・保存方法 ・ビタミン	a:高分子の物質名や性質などが理解できる。 b:ビタミンの種類、欠乏症などがａから推察できる。 c:ｂで得たことから自身の日常生活にどのように生かされているか認識することができる。	考査 小テスト	考査 パフォーマンス課題 プリント	授業観察 プリント
後期	化学・生物分野	・天然繊維・合成繊維 ・合成樹脂 ・医薬品 ・洗剤	a:繊維、樹脂、医薬品、洗剤の種類・用途が理解できる。 b:それぞれの物質の化学的構造がａから推察できる。 c:自身の日常生活にどのように生かされているか認識することができる。	考査 小テスト	考査 パフォーマンス課題 プリント	授業観察 プリント
	総合	・SDGs ・地球温暖化	a:ＳＤＧｓの１７の目標が理解できる。 b:ａから自身が地球環境を保つために何ができるか答えることができる。 c:ｂで出てきた疑問に対しての解答を自身の意見で述べることができる。	考査 小テスト	考査 パフォーマンス課題 プリント	授業観察 プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度